

地域ふるさと 振興校

学 校	学 科	課 程
黒沢尻工業高等学校	機械科、電気科、電子科、電子 機械科、土木科、材料技術科	全日制

URL (note) <https://kst-hs.note.jp/> 電話 0197-66-4115

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 「このような生徒を待っています」	
<ul style="list-style-type: none"> ・工業に関心があり、本校の学習内容や教育活動に興味関心を持っている生徒 ・ものづくりをとおして地域と社会に貢献し、世界で活躍することを夢見る生徒 ・自らの成長と夢の実現に向けて、資格取得に挑戦する生徒 ・他人を認め、部活動や奉仕活動に積極的に取り組む意欲のある生徒 	
地域との連携体制等	
連携先	北上市、北上川流域ものづくりネットワーク、北上工業クラブ、岩手建設業協会北上支部、北上地区電気工事業協同組合、岩手大学 等
具体的な取組	<ol style="list-style-type: none"> 1 「地元企業出前授業」講座（2年生）管内企業の代表者・技術者の方からの講話により、地域産業の理解を深めるとともに、自らの将来を具現化する進路選択の一助とする。 2 「地域連携プロジェクト」（課題研究・3年生）自分たちの知識・技術を用い、それぞれの地域にある「未知の課題」に対峙するプロセスを通して、「高校で培った知識・技術の意味づけ」を行い、さらにより自分らしい未来を切り開いていくための「探究する力」、「価値を創造する力」を高めることを目的に取り組む。 3 岩手大学半導体アカデミー（工業技術基礎・課題研究）（電子科・電子機械科）本県の自動車産業と半導体産業は、より密接な関係で発展していく産業であり、電子デバイスの学習を深めるため、岩手大学大学院生の出前授業を受講し、半導体の特性実験をとおしてセンサーユニットを作成し半導体の理解を深める。 4 出前授業（電気科のエネルギー環境教育実践等）（3年電気科）エネルギー環境教育に係る各種実験を域内の小中学生に出前授業することで、生徒個々のスキルを高めるとともに、小中学生が理科で学習するエネルギー環境学習の理解を深める。 5 全科による学校出前授業（3年生）要望のあった中学校に出向いて行き、全科で工業高校の学びを実演している。当該中学校における工業高校の理解促進を図る。 6 北上テクノメッセでの発表・展示・実演（全科）北上市商工部、北上工業クラブ主催の企業展示ブースにおいて、見学に来る小中学生及び一般の方々へ、黒工の学びを紹介しながら工業教育の実演を行う。（隔年） 7 地元建設業協会との測量実技講習会（3年土木科）本校会場にして、建設業協会北上支部青年部の協力を得て、測量技術の基礎から工事用測量等の技術を学ぶ。 8 地元電気工事業協同組合による電気工事士実技講習会（2・3年電気科）電気工事業協同組合北上支部の協力を得て、電気工事士実技試験にむけた技術を学ぶ。
入学後の居住環境等	
住居の状況	学校から下宿先を紹介する。
食事の提供予定	平日2食（朝・夕）、平日の昼食は業者の弁当。
通学方法・時間	下宿先によるが、電車及び徒歩、又は自転車。
費用（学校の諸経費や通学費用を除く）	下宿先によるが、概ね毎月60,000円程度（食費込み。光熱費は下宿先により異なる）。 北上市から市内下宿者に対し、毎月10,000円（年額12万円）の下宿等補助金あり。
サポート体制	緊急時等は、下宿、学校が連携して対応する。

【募集定員】 12名

(ただし、各科4名以内)

【選抜日程】 出願期間 令和7年1月15日(水)～20日(月)

検 査 日 令和7年1月28日(火) 集合時刻 9:00

終了時刻 12:00(予定)

【選抜方法】

1 調査書(学習の記録)(100点)

「中学1年の9教科の評定×1+中学2年の9教科の評定×2+中学3年の9教科の評定×3」の合計270点を圧縮

2 志願理由書(50点)

評価の観点(配点): これまでの取組への主体性、積極性等(25点)

入学後の活動に関する意欲(25点)

3 面接(150点)

・個人面接(一人あたり10分)

・志願理由

入学後に取り組みたいこと、将来の進路意識などについて、面接官の質問に答える

・評価の観点(配点): 高校生活への意欲(70点)

進路に関する意欲(50点)

表現力(30点)

《合計300点》

《志願及び受検にあたっての留意事項》

- ・出願にあたっては、必ず志願者本人及び保護者が事前に学校を見学し、入学後の学習環境や居住環境についての説明を受けること。
- ・出願の手続は「岩手県立高等学校入学者選抜実施要項」によること。
- ・他の公立高等学校と併願できないこと。